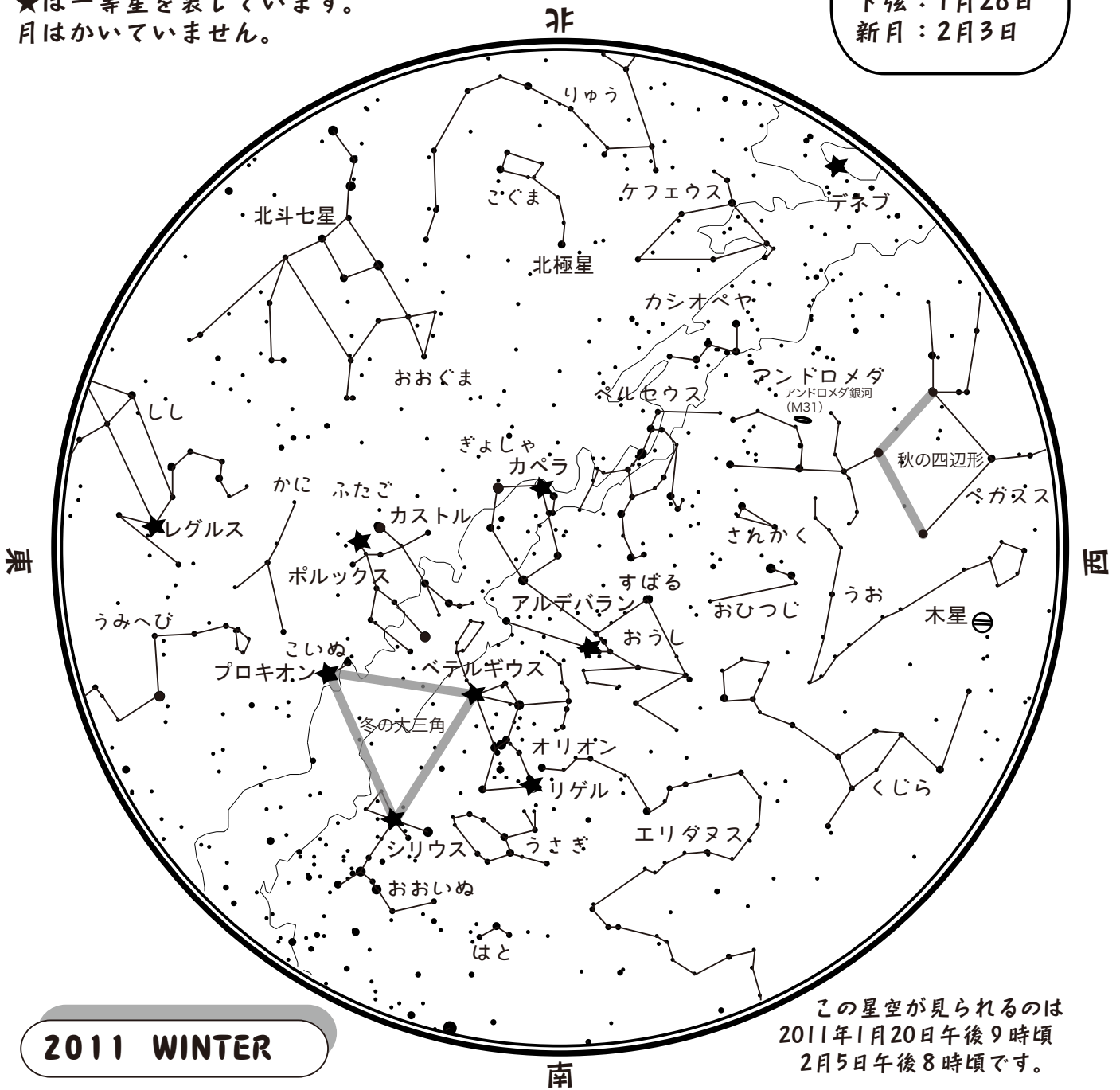


# ★ 姫路で見る1月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

満月：1月20日  
下弦：1月26日  
新月：2月3日



2011 WINTER

この星空が見られるのは  
2011年1月20日午後9時頃  
2月5日午後8時頃です。

頭の真上で輝くのは、ぎょしゃ座のカペラです。近くにはおうし座の目の星アルデバラン、ふたご座の兄弟の星がありとてもにぎやかです。またオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンという明るい星たちを結ぶと「冬の大三角」が出来上がります。

西の空には、四角い星並びのペガサス座の胴体「秋の四辺形」を探ることができます。すぐ近くで、ひときわ明るく輝いているのは、太陽系最大の惑星「木星」です。12年で太陽の周りを回る木星は、しばらく秋の星座であるうお座の近くで輝きます。そして来年の2月下旬から3月上旬にはくじら座付近へ、その後はうお座にもどって、6月上旬からはおひつじ座へと星座の中をうろろと移動していきます。

今の季節は、空気も澄んで星もより輝いて見えます。暖かい格好をして、少しの間でも星空を眺めてみて下さいね。